

## 男らしさ女らしさ、自分らしさ【中学校】

- 1 主題名** 充実した生き方を求めて **内容項目** A 向上心、個性の伸長
- 2 ねらい** 登場人物に自我関与し、自分らしさについて多面的・多角的に考えることを通して、性差についての社会通念を超えた自分らしい生き方を追求する心情を育てる。
- 3 展開例**

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
<b>導 入</b>	1 男らしさ、女らしさについて考える。	・今までの学習を想起させ、男女のイメージについて、意見を出させる。
<b>展 開</b>	2 教材「男らしさ女らしさ、自分らしさ」を聞き、話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             寛幸…中学校1年生。野球部に入る。本当は家庭科部に入りたい。              恵 …寛幸の友達。拓己と同じ野球部に所属。              星香…寛幸、恵の同級生。サッカー部に所属している。制服はスラックスを着用。           </div> (1)「ああ嫌だ、何もかも嫌だ」という寛幸は、どういふことが嫌なのだろうか。 (2)「自分らしさか。」とつぶやく寛幸はどんなことを考えているだろうか。 (補助発問) 星香の話聞いて、寛幸はどう思っただろうか。 (3)恵を朝食に誘う寛幸は、どんな思いか。 3 本時の学びを通して、振り返る。	・自分らしくありたいと思う一方で、一般的な「男らしさ」に合わせようとしたり、言いたいことが言えなかったりする寛幸のもやもやした気持ちに共感させる。 ・星香の話聞き、自分らしく生きることについて考えている寛幸の気持ちに共感させる。 ・寛幸自身が自分らしさについて正面から向き合っただけを考えはじめたことを押さえる。 ・自分らしく生活しようとする寛幸のすがすがしさに共感させる。 ・本教材や話し合いを通して、感じたこと、考えたこと、これからの生活に生かしたいことを道徳ノート等に記入する。
<b>終 末</b>	4 性の多様性に関する新聞記事等を紹介する。	・性の多様性に関する新聞記事等を活用し、教科書とは違った視点で考えさせる。

### 4 教材作成の意図と取扱いの留意点

昨今の人権課題の1つとして、性の多様性の尊重が取り上げられている。生徒の中には、LGBTQに該当する生徒がいることが考えられる。学校では、性の多様性について学習したり、制服が選択できるようになったりと、学びの機会や対応は少しずつ広がっている。そのような中、生徒が「男らしさ、女らしさ」といった社会通念上の性差の観念にとらわれることも否定することもなく、「自分らしい生き方」を考えることができる教材が必要と捉え本教材を作成した。

本教材の取扱いについては、授業を受ける生徒の中に、当事者がいるかもしれないということを前提とするとともに、一人一人が思っている「男らしさ、女らしさ」を否定することなく、「自分らしく生きること」をねらいとすることが大切である。また、「人権感覚育成プログラム（学校教育編）第2集」を併せて活用するなど、他教科等との関連を図りたい。本授業では、道徳科の特質を重視し、学級活動との違いを明確にすることに留意する。